

課外活動 「手話教室」

相模原市立内出中学校



活動目標

- 「ともに生きる社会」を認識し、地域社会に貢献する生徒を育てる。
- 障がいのある人に寄り添い、人権・福祉に関わる‘ ころ’ の教育を展開し、慈しみと寛容の心を備える生徒の育成を図る。

(1) 実施時期

平成 29 年 10 月 17 日、30 日、11 月 7 日、22 日
30 年 1 月 16 日、30 日、2 月 14 日、27 日

(2) 対象（学年等・人数）

本校生徒 30 名程度の希望生徒、担当教諭
地域在住の一般の方々（2つの公民館に案内の掲示）



(3) 指導者（教諭・外部講師等）

地域手話クラブのボランティアの方（2名～5名） ※ 毎回、同じ方に協力を依頼
聾唖のボランティアの方 社会福祉協議会の協力

(4) 実施内容

第1回（10月17日）

講師による、「障がい者の理解について」手話の意義など。テキストの確認と手話でひらがなと自分の名前を学ぶ。（講師4名・教師6名・生徒約30名・一般0名）

第2回（10月30日）

講師によるひらがなの復習。簡単な自己紹介の手話を学ぶ。自分の名前、簡単な挨拶や日常の言葉など。（講師3名・生徒28名・教師4名）

第3回（11月7日）

自分の名前と簡単な自己紹介。生徒同士の簡単な挨拶や対話。
（講師2名・生徒20名・教師3名）

第4回（11月22日）

聾唖者の方を招いた対話活動。簡単な日常語を介した挨拶と自己紹介の実践学習。
（講師5名・聾唖者1名・生徒20名・教師3名）

(5) 成果

- 体験活動を継続することで、その講習の中だけで手話を使うのではなく、生徒が自信をもって障がいのある人とコミュニケーションをとる勇気を備える学習とすることができた。
- 教室開催のための時間の確保、教職員の体制づくりなどに課題が見られる。

〈生徒の感想から〉

「楽しく手話を学ぶことができてうれしいです。手話を使ってたくさんの人と話ができるようになりたいです。」

(6) その他

学校ホームページ、学校便りなどを活用し参加者の募集ならびに活動の紹介を行った。